

平成 18 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 日本電産トソク株式会社
 代表者名 代表取締役社長 竹松 和男
 (コード番号 7728 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 丹野 光好
 (TEL 046-252-3112)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 4 月 25 日の決算発表時に公表し、平成 18 年 2 月 1 日の第 3 四半期業績の発表時にこれを変更しないこととした平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期連結業績予想の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

連結業績

(単位:百万円未満切捨、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 18 年 2 月 1 日)	29,400	2,400	1,300
今回修正予想(B)	26,518	1,872	1,095
増減額(B - A)	2,881	527	204
増減率(%)	9.8	22.0	15.7
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	28,678	2,818	1,647

2. 平成 18 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

単独業績

(単位:百万円未満切捨、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 18 年 2 月 1 日)	25,600	1,000	500
今回修正予想(B)	22,488	779	561
増減額(B - A)	3,111	220	61
増減率(%)	12.2	22.0	12.3
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	24,648	1,208	728

3. 修正理由

当社事業の4本柱のうち自動車部品事業、モータ事業は予定通り推移し、特に計測機器事業においては「選択と集中」の方針の下、旺盛な客先設備投資もあり予想以上の業績を上げることが出来ました。

しかしながら、柱の一つである半導体製造装置事業は、市場が平成16年度後半から投資抑制期に入り、特に当社の主力であるディスクリット分野の受注が平成17年度は激減し、加えて価格競争が激化いたしました。受注回復を図るべく営業活動及び技術開発に努めましたが本格的回復には至らず、半導体製造装置事業の売上高は期初予想を大きく下回り、利益も受注・売上高の低迷の影響を受け損失を計上することになりました。

このような状況下、他の事業で業績を確保すべく努めましたが、半導体製造装置事業の落込みをカバーするまでに至らず、前回公表の業績予想を修正する結果となりました。

以上